ご尽力がなければ、この日をこうして迎えることは出来ませんでした。何と感謝を申し上げてよいか分からないほどです。

ご列席の来賓の皆さま、ご多用中にもかかわら

ず、新しく巣立ちする生徒たちのために、

三年間の楽しい思い出、そして時には悩みや

困難との出会いを経験しながら、きょうの卒業式を迎えた皆さん、心からおめでとうの言葉を贈りたいと思います。

校長先生をはじめ、諸先生方のたゆみない

○

謝　辞

温かい励ましのお言葉を頂戴し、本当にありがとうございます。

いま私の脳裏には、三年前の入学式のことが鮮やかによみがえっています。

まだあどけなさが残る顔が、初めての制服に

中学校の三年間は、人生の中でも最も急速に心身が成長する時期にあたるのだな、とあらためて思います。

そんな大切な時期を、○○中学校でともに過ごせたこと、素晴らしい先生方やお友だちと出会えた

緊張した面もちで並んでいました

あの時とは見違えるほど、お兄さん、お姉さんになった皆さんのお顔をこうして拝見していると、それぞれが多くのことを学び、経験し、大きく成長されたことを実感しております

ことは、これからの皆さんの人生でも、ずっと大切な宝物になるでしょう。

　きょうからは、進学する人、一足先に社会に出て職業に就く人と、進路もそれぞれに分かれていきます。

自分自身で自分の将来を切り開いていく第一歩に立つわけです。

きっと期待とともに、多少の不安や、友だちと別れる寂しさも、皆さんの心の中でふくらんでいることでしょう。

長い人生の中で、むずかしい問題に突き当たる

こともきっとあるでしょう。

しかし、そういう困難があるからこそ、人は成長もするのだと思います。

　一人ひとりの個性を尊重する伝統的な校風の

中で、諸先生方の適切な指導を受けてきた皆さんには、どんな夢でも実現してしまうくらいの可能性が育っています。

自分を信じ、先生方の教えを思い起こし、友情を大切にして励まし合い、元気に新しい

ステップへ踏み出してください。

○○○○年○月○日

丸愛　太郎

保護者代表

最後になりましたが、校長先生はじめ諸先生方、これからもお元気で、生徒たちの行く末を見守っていただきますようお願いして、感謝の言葉に代えさせていただきます。